



## HE (High Efficiency) のガード間隔の設定

- [HE \(High Efficiency\) のガード間隔の設定 \(1 ページ\)](#)

### HE (High Efficiency) のガード間隔の設定

ガード間隔を長くすると、長距離の屋外展開でリンクの信頼性が向上します。ガード間隔などの機能は、URWB スタックをサポートしています。

ガード間隔を設定するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure dot11Radio [interface] guard-interval [gi]
```

gi : ガード間隔の値は次のとおりです。

1600 : 1600 ns のガード間隔を設定します (HE モードでのみサポートされる)

3200 : 3200 ns のガード間隔を設定します (HE モードでのみサポートされる)

400 : 400 ns のガード間隔を設定します (HT および VHT モードでサポートされる)

800 : 800 ns のガード間隔を設定します (デフォルトガード間隔モードと HT、VHT、HE での無効モード)

例 :

```
Device# configure dot11Radio 1 high-efficiency enable
```

```
Device# configure dot11Radio 1 guard-interval 1600
```

```
Device# configure dot11Radio 1 guard-interval 3200
```

```
Device# wr
```

ガード間隔を検証するには、次の show コマンドを使用します。

```
Device# show dot11Radio 1 config
```

```
Maximum tx mcs: 9  
High-efficiency : enabled  
Maximum tx nss : 2  
RTS protection : disabled  
guard-interval : 1600 ns
```

```
Device# show dot11Radio 2 config
```

```
Maximum tx mcs: 9  
High-efficiency : enabled  
Maximum tx nss : 2
```

```
RTS protection : disabled  
guard-interval : 3200 ns
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。